

南池袋二丁目 B ゾーン まちづくり懇談会だより(6)

平成20年
8月7日

発行 豊島区都市整備部都市開発課 03-3981-1341 (直通)

第4回全体説明会の報告 & 第5回全体説明会のご案内

6月21日午後7時より、旧日出小学校のレクルームにおいて南池袋二丁目 B ゾーンの第4回全体説明会が開催されました。参加住民は11名でした。

■Aゾーンの動向…Aゾーンへの移転も検討

豊島区の区庁舎建設室より説明がありました。区庁舎の建て替えについては、これまで現在の庁舎の位置における建て替えとAゾーンへの移転の2つの選択肢を設定してきました。今後はさらに現実的な検討を進めていくとのことでした。模型を見て区庁舎の大きさが実感されました。



■区庁舎のボリューム模型を前に、説明を聞く参加者のみなさん

■まち歩きの結果について…くまなく歩き、実感を共有

既に「たより5」に掲載しました「まち歩きイベントの成果」が詳細に報告されました。まちの魅力としては、各家で育てている花木の美しさや緑の潤いにあふれる路地があること、井戸が数箇所保全され災害の供えになっていることが分かりました。一方、問題点としては、排水設備や舗装が整わず雨が降るとぬかるむ道があることや、細くて行き止まりのため防災上の課題が残る路地が見られたことなど、実際にじっくりと街を歩いたからこそ実感できることがらでした。これらの成果を今後のまちづくりに活かしていくことが期待されています。

■複数のタイプの将来モデルを用いたシミュレーション

今後の進め方について意見交換をしました。まちの将来像を描くための手がかりとして、複数のタイプの将来モデルを用いて検討することが提案され、タイプについて話し合いました。その結果、次回は次の4つのタイプについてモデルを作ってみることになりました。

- ①現在の条件のまま進む想定モデル
- ②「環5の1」と同様の地区計画をかける想定モデル
- ③高層と中低層が住み分ける想定モデル
- ④高層化を推進する想定モデル

「南池袋二丁目 B ゾーン第5回全体説明会」開催のご案内

第4回全体説明会で設定した“4つのタイプの想定モデル”を見ながら話し合います。初めての方もふるってご参加ください。

- 日時：平成20年8月21日(木) 19時～20時30分
- 場所：旧日出小学校レクルーム
- 内容：将来モデルによるシミュレーション



まちの移り変わり・・・

全体説明会では、参加されたみなさんからまちの様子について情報提供をいただきました。

かつて、Bゾーンの中央には竹林があり、「竹山」と呼ばれていたことがあるそうです。また、現在でもこんこんと水が湧いている井戸があったり、駐車場の地下には防火用水があること、また、東通りが昔は住民以外は進入禁止だったこともあるそうです。目には見えないまちの歴史や資源をいろいろと教えていただきました。

また、環5の1は現在工事中ですが既に変化の兆しが見えています。Aゾーンとの境界道路では交通量が増加し、反対にゾーン内の通過交通は減少してきたということです。今後の変化を予測する貴重な手がかりとなりましょう。

■インタビューのご案内

まちの様子や移り変わりについて、みなさんのお話をお待ちしています！
また、会議には出られないけれどご意見のある方、お話を伺います。下記までご連絡をください。

個人でもグループでも結構です。気軽にお電話をください。

（個別インタビュー受付：豊島区都市整備部都市開発課
03-3981-1341（直通）担当 活田・鷹野・横田）

【トピック】

南池袋二丁目は、A・B・Cの3つのゾーンでそれぞれまちづくりが進んでいます。Aゾーンでは区庁舎の移転についてさらに現実的な検討が進んでいます。また、Cゾーンでは区主催の全体説明会（8月22日）の開催を予定しています。「まちづくり懇談会たより」では、各ゾーンの動向についても進捗状況に合わせてお知らせを予定しています。